まだまだ知らない串間がたくさん！

くしま再発見

福島川の埋没クスノキ

平成８年のことでした。上町で福島川の河床から化石化した巨大なクスノキ３本が発見されました。最大のものは長さ20メートル、直径約1・5メートル、重さは約20トンあり、生きていた時には高さが30～35メートルあったものと推定されました。当時は広く報道もされましたので、記憶に残っている方も多いかもしれません。

クスノキは年輪の数から樹齢５００年。科学分析の結果やクスノキの埋もれていた粘土層に多くの弥生土器が含まれていた状況などから縄文時代の終わりの頃から弥生時代の頃に生きていたクスノキで、科学分析の数値としては約２４００年前に倒れて死んだものとされました。観察からは河川の氾濫や土石流によって倒れたものの生きていた場所からそれほど動いていないことも分かりました。また、クスノキの中の空洞からはネブトクワガタという小型のクワガタムシも発見されましたが、こちらもクスノキと同じ時代を生きた昆虫であるとの分析結果が出されました。

各科学分野における調査の結果、福島川の埋没クスノキは現代の我々にいろいろなことを教えてくれることになりました。まずは年輪の観察によると温暖な気候を好む樹木にしては年輪の間隔が狭く、クスノキが生きていた時代の串間は今よりも寒かったことが分かりました。また、当時の福島平野は広い潟湖のようで、その周辺にクスノキ・タブノキ・スダジイ・イチイガシなどの広葉樹が茂っている環境だったそうです。広葉樹の森には木の実類が実り、それを食料とする小動物や鳥が集まり、それらを求める動物や猛禽類そして人間の営みが繰り広げられたことが想像できます。

こうした環境が後に「櫛（くし）：神々の愛する樹木」と「間（ま）：地域」という自然の豊かさを表現する地名を生み出す原風景になったと考えるのは飛躍しすぎでしょうか？ 市報２月号で紹介しました下弓田遺跡（縄文時代後期～平安時代）の他、北方の大田丘遺跡（弥生時代）、市民病院周辺の唐人町池ヶ迫遺跡（縄文時代晩期～古墳時代）などでの人間の営みはクスノキなど広葉樹林の生きた時代と重なり、狩猟採集の場となっていたことも想像されます。

福島川の埋没クスノキは串間市文化会館ロビーと宮崎県総合博物館玄関に展示してあります。文化会館ではクスノキの年輪幅や内部空洞の状態を見ることができます。オガクズをケースに入れてありますので２０００年前のクスノキの香りを感じることもできます。

福島川の河床から引き揚げられたクスノキ（平成８年）

文化会館ロビーに展示されたクスノキ

問い合わせ先　生涯学習課文化係　☎ 内線 378

うたごよみ

～12の季節～

【短歌】串間短歌会選

短歌（うた）という伴侶ある故病める身の生きる命の食を欲しがる　上中園　鍋倉　文子

忘れいし母の忌はたと気づく夕庭の白梅「いいよ」と舞いぬ　上小路　吉開　美穂

菩提寺の三股の中わが家族（うから）安置かなへり心やすらぐ　有明一区　長岡　アイ子

お手本に添ひし七十の手習ひの筆持て汗かき指は震へる　堂園　吉田　良子

孫と行く習字教室丸く太く繰り返し書く母といふ文字　霧島　清水　しづ子

短歌の投稿は　清水しづ子さんまで（☎72－5546）

【俳句】あさひ俳句会選

桜餅と書かれしのみや角の店　仲町　原　里歌

そとのぞく蝌蚪の嘆きを聴きしとも　仲町　木島　幸子

莫蓙敷いて宴の準備春の宵　串間　島田　ミネ子

山笑ふ四代目継ぎし酪農家　上小路　木島　サイ子

寒肥を撒くや野菜に語りかけ　一般投句　鍛治屋　森本　慶典

俳句の投稿は　又木 順子さんまで（☎72－0159）

市長コラム

輝く新元号と31年度予算

平成の時代もまもなく終わりを迎え、5月には新しい元号が始まります。新しい時代の幕開けとともに未来に向かって勢いよく今年度のスタートを切り、串間市が希望に輝く一年となるよう走り始めなければなりません。

そのための取り組みとして、懸案事項の串間温泉いこいの里は休館し、一年かけて心身の安らぎを与えられる施設としてリニューアルします。観光の核となる都井岬については、長年の課題であった水の安定確保を行い、観光客の増加やインバウンド効果をもたらすためのトイレ等休憩施設を整備します。さらに東九州自動車道が事業化に向けて大きく動き始めたことを踏まえ、「くしま」の活性化に向けた拠点施設となる「道の駅」の建設に向けてしっかりと進めながら、取り組みを前に進めていきたいと思います。

新年度は一般会計で128億9千万円の大幅な予算を計上しました。予算執行については、議会や職員と綿密な事業精査と研鑽を重ねながら各施策の着実な実行を図り、市民の皆さまの期待に添えるよう全庁あげて取り組んでいきたいと思います。

今年度は、串間市の新しい時代のスタートに向けて非常に重要な1年になると考えています。新しい元号を迎える記念すべき年が市民、そして串間市にとって輝く年となるよう力を余すことなく取り組んでいきますので、今年度もご協力をよろしくお願いいたします。